

## 車窓から見た糸魚川世界ジオパーク (1) JR 大糸線 Railroad Geotourism in Itoigawa Global Geopark, Part 1: JR Oito Line

宮島 宏<sup>1\*</sup>, 竹之内 耕<sup>1</sup>, 茨木 洋介<sup>1</sup>  
MIYAJIMA, Hiroshi<sup>1\*</sup>, TAKENOUCI, Ko<sup>1</sup>, IBARAKI, Yousuke<sup>1</sup>

<sup>1</sup> フォッサマグナミュージアム  
<sup>1</sup>Fossa Magna Museum

### 鉄道車窓の地学

日本の鉄道車窓の地学は70年前に発祥。矢島(2007)は元祖『車窓の地学』を、車窓から見える地質、地形、土壌、農業などを解説した脇水鐵五郎の『車窓から見た自然界 東海道』(1942)と『同 山陽道』(1944)とした。1948年の雑誌「地球の科学」にも鉄道車窓の地学(東海道線:横山次郎, 常磐線:半沢正四郎, 北陸線:石井逸太郎)があり、近年では加藤ら(2009)によるジオ鉄がある。

### 鉄道と糸魚川世界ジオパーク (IGGP)

IGGPでは鉄道を単なる移動手段ではなく、ジオパークを学び楽しむための対象と手段と考えている。IGGPには鉄道関係遺産も多い。久比岐自転車歩行者道は地滑り頻発のため、1969年の新線付け替えで廃止された北陸線の線路敷。フォッサマグナミュージアムのSLくるひめ号は、1982年まで酸性白土工場～糸魚川駅の用軽便鉄道で使用。約100年前地元で作られたレンガは北陸本線の橋脚やトンネルなどに使用。レンガ造車庫は1912年に糸魚川駅に建造。2010年まで糸魚川駅のランドマークとして残っていたが、惜しくも新幹線工事により撤去された。車庫内ではジャズやサヌカイト石琴などの音楽会や見学会が開催され、ジオパークの紹介も行われた。車庫の一部は保存され、新駅舎に利用される予定である。

### 大糸線

大糸線は糸魚川～松本駅105.4kmを結ぶ。糸魚川～南小谷駅はJR西日本非電化区間で、南小谷～松本駅はJR東日本電化区間。IGGPには糸魚川 静岡構造線 (ISTL) 他、電気の周波数、言語、食習慣などの境界があるが、これもその1つ。大糸線の名称は町と糸魚川の頭文字。現在2地名由来の鉄道路線名で訓読みするのは大糸線と米坂線で、ともに新潟県を通る。1934年糸魚川～根知駅間が開通、翌年小滝駅まで延伸されるも、姫川渓谷の最も険しい小滝～中土駅間(16.7km)の開業は1957年(今年が全通55周年)。

IGGPでは大糸線は大糸線・姫川渓谷ジオサイトと呼ばれる。糸魚川～平岩駅の20.4kmを乗車時間約35分、平均時速35kmのゆったりとしたジオツアーを楽しめる。

大糸線はISTL、姫川、国道148号、塩の道とほぼ並行している。車窓から西南日本の北アルプスと東北日本・フォッサマグナ地域の西頸城山地の山々、姫川の流れの変化を望む。雪が多く、急峻で脆弱な地質の地域を通る大糸線は自然災害を多く受けた。1995年の7.11水害では甚大な被害を受け、小滝～南小谷駅間の復旧まで2年以上かかった。

### 各駅論

糸魚川駅(標高5m):2015年春開通予定の北陸新幹線の建設工事が進む。改札口などに糸魚川産ヒスイがある。駅前で宝石の露出展示は全国で糸魚川が唯一。発車後間もなく松本街道の信州踏切。

姫川駅(標高32m):1986年11月1日に新設され、国鉄時代に最後に作られた駅。1300mのボーリングによって得られた100近い高温の温泉の湯気が見える。

頸城大野駅(標高49m):石炭紀～ペルム紀の石灰岩からなる黒姫山と鉾山切羽を望む。ウトウと呼ばれる塩の道の切り通しは南方約2kmの位置。

根知駅(標高90m):根知川橋梁より鮮新世の安山岩の駒ヶ岳の特異な山容が見える。巨大な玄武岩質枕状溶岩(12m, 中新世)と発掘したISTL露頭が見学できるフォッサマグナパーク入口まで徒歩10分。駅西の城山に戦国時代の山城跡があり、早春のカタクリ群落が見事。袴岩(2000t 曹長岩巨礫)や蛇紋岩地滑り(青ヌケ)を望む。

小滝駅(標高134m):第1下姫川橋梁に1934年の鉄道省のプレートが残る。ピラミッド型の明星山は黒姫山と同時代の石灰岩で、岩登りの対象。駅手前で姫川に小滝川が合流。硬い岩盤を通る小滝川は清澄、姫川は上流に日本三大崩れ・稗田山などのためやや濁る。駅より約5kmに1938年日本最初のヒスイ発見地・小滝川ヒスイ峡があり、明星山の絶壁とともにIGGPの必見の地。美しい曲線の第3下姫川橋梁は撮り鉄の定番。

# Japan Geoscience Union Meeting 2012

(May 20-25 2012 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2012. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS32-P14

会場:コンベンションホール

時間:5月21日 12:15-13:15

平岩駅(標高 263m):小滝~平岩駅間は時速 25km 走行区間があり, 姫川峡谷をトンネル, スノーシェッド, 鉄橋など変化に富む. 鎌倉トンネル入口は長野県最低点(標高 177m). トンネル出口から蛇紋岩採石所跡を望む. 蓮華温泉を経て白馬岳に登る道の起点で, 1897 年 W. ウェストンもこの道で白馬岳に登山. 南方に斜面崩落でできた葛葉峠, 蒲原沢では 1996 年 12 月 6 日融雪による土石流災害(犠牲者 14 人)があり慰霊碑がある. 県境の真那板山トンネル(3125m)は大糸線最長, トンネル内の標高差 80 m. 出口の広い河原は 1911 年の稗田山崩壊による河道閉塞の名残り.

## 大糸線ジオパーク活動

2010 年キハ 52 系気動車廃止の際, 3 両運転ジオパーク号で学芸員が車内ジオガイドをした. 秋の小滝ウォーキングではマイカー参加を避け, 大糸線での集合を推奨. 八方尾根・仁科三湖へのジオツアーも大糸線を利用する. 2012 年 5 月 2 日大糸線全通 55 周年記念「塩の道起点まつり」では, 糸魚川~根知を往路は塩の道を徒歩, 復路は大糸線というジオツアーを行う予定.

キーワード: ジオツーリズム, 鉄道, 糸魚川, ジオパーク, 大糸線, 車窓

Keywords: geotourism, railroad, Itoigawa, Geopark, Oito Line, train window